

2025年の志

2024年は新しいチャレンジがいくつかありました。常勤スタッフ不在で坂本のワンオペ、総ボランティア体制という、これまでにないチームで挑んだため、全体的には縮小傾向、補助金も建設プロジェクトもなく、どちらかというと地味だったかもしれません。でも、そんな時だからこそ、底力が発揮されたという感もあり、内容的には充実していました。それも、ひとえに移住以来12年で培った人材ネットワークや地域のサポートのおかげです。みなさんには感謝の言葉もありません。

これまで外に向けて活動を展開してきましたが、改めて、足元の課題であるエネルギー自給や土づくりをテーマにした活動に力を入れました。これはきっと次の10年の基盤になってくれるに違いありません。経営的には相変わらず苦戦が続きましたが、米騒動の時にはお米を送っていただいたり、施設の維持管理や食事づくりなどをボランティアに支えてもらいながら豊かな食卓を囲む暮らしは、まさに「持続可能な幸福（ウェルビーイング）」と呼べるのではないのでしょうか。

引き続き、会員、インターンスタッフ、講座やイベントの参加など、いろいろな方法で仲間になってくださる方を募っています。どうか、本年もみなさまのご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2025インターンスタッフ募集

日々の農作業等を通じて自給スキルを身につけたり、仲間と共生するコミュニティライフを体験したり、農業や建築など多様な専門家や魅力的な生き方を実践している人と出会ったり、新しいことに挑戦するチャンスです。将来のキャリアデザインや起業、移住のためのリサーチや実験、あなたの人生で貴重な体験になるでしょう。

期間：2025年4月～12月(うち6か月以上。延長可)

詳細はエコビレッジのウェブサイトをご覧ください、お問い合わせください。

入会案内

入会に当たっては、以下の口座に会費をお振込みいただき、お手数ですが、ご氏名、ご住所、電話番号をお知らせください。Baseからクレジットカードでの申し込み・送金も可能です。

<年会費>

- 正会員（総会での議決権あり）一口15,000円以上
- アクティビティ会員（議決権なし。敷地の利用やクラブ活動への参加可）一口10,000円以上
- サポート会員（議決権なし。情報の優先配信）一口5,000円以上

・ゆうちょ銀行から

【記号】19070 【番号】38886511

【口座名義】トクヒ）ホッカイドウエコビレッジイシンプロジェクト

*ゆうちょ口座のない方は振替用紙を使うと手数料がお安くなります。

【口座番号】02700-9-85080

【口座名義】北海道エコビレッジプロジェクト

・北洋銀行から

【口座番号】宮の森支店 普通4031861

【口座名義】トクヒ）ホッカイドウエコビレッジイシンプロジェクト

Baseへリンク↓

入会・寄付のお問合せは下記まで

住所：余市郡余市町登町1863

Tel / Fax：0135-22-6666

Eメール：y.ecocollege@gmail.com

HP：http://ecovillage.site



エコビレッジ
notes

VOL.59 JAN.



作成・発行

NPO法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト

余市郡余市町登町1863

理事長 坂本純科

Hokkaido Eco-village Promotion Project

2025年 イベント案内♪

○コミュニティセミナー

最近ではデジタルなコミュニティなど人との関わりが一層多様化する中、ライフスタイルやそれぞれの志向にあったコミュニティをつくり、それらが繋がって、町も元気になったら理想です。エコビレッジやコミュニティレストランのようなリアルコミュニティから、ITを使って町おこしを行う新しい取り組みなど様々な事例を学びながら、地域の魅力や自分に合った関わり方を考えてみませんか。

日時：2025年 2月15日(土) 14:00～16:00
会場：余市テラス(余市町黒川町10丁目3-27)
参加費：1000円(菓子・ドリンクつき)
話題提供：伊藤規久子(北海道コミュニティレストラン協議会)、畠中博晶(あるやうむ)、hiro(余市町地域おこし協力隊)、坂本純科(北海道エコビレッジ推進プロジェクト)
主催：machiDAO 共催：余市エコビレッジ

○2025余市エコビレッジセミナー



「エコビレッジに興味があって、一度ちゃんと話を聞いてみたい」「活動に参加してみたいけど、どんな方法があるの?」という方に向けたセミナーです。久々の札幌での開催。新しくリリース予定のワインもお試しいただけます。

日時：2025年3月1日(土) 15:00～18:00
会場：Bokashi Base
(札幌市中央区南2条西1-7-1
二番館ビル2F)

参加費：1,000円

* 交流会の軽食やワインは別途現金

○農的暮らしの連続講座



野菜や果物の栽培、調理加工など自給ライフに必要なノウハウを中心に、参加者が主体的に学び合い、自分らしい農的暮らしをデザインすることがねらいです。「将来田舎で自給自足的な生活をしたい」「畑だけじゃなくてトイレや電気などトータルにエコライフを学びたい」「今の消費生活に疑問や不満を感じているけど何から変えていいかわからない」という皆さん、一緒に活動しましょう。毎月の講座の日以外にも、自由に通って敷地の山菜やサクランボを収穫したり、近所の農家を訪ねたり、お楽しみがいろいろありますよ。

毎月第3日曜 9:00～15:00 計8回開催

○ヴィンヤードクラブ

エコビレッジでは世界の多様な文化・国籍の人たちと共にワインブドウを植え、平和や多様性をテーマにしたワインづくりを進めています。

「ヴィンヤードクラブ」では、エコビレッジのブドウ畑での作業に参加するメンバーを募集しています。活動は毎月2回程度で、第1・第3土曜日または日曜日です(作業量や天候状況により、回数や日程を調整)。自らの手でワインブドウを栽培してみたい方や、ワインづくりに興味のある方、仲間たちと一緒に農作業に取り組んでみたい方は、ぜひご参加ください。



2024年 活動報告✍️

○地域エネルギー研究会

昨年設置したソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)は、北海道初の両面パネルで1～2月の積雪期にも発電することが実証されました。電気以外のエネルギーもトータルに検証し、省エネ・創エネのベストプランを検討しています。目標はエコビレッジモデルが普及し、地域の防災拠点を作ること。低炭素と地域づくりの両方をねらったプロジェクトとして力を入れています。

* この事業は公益財団法人秋山記念生命科学振興財団のサポートを受けて実施しています



○学び舎10周年イベント

エコハウスのショールームとして、また多様な学び合いの場所として2014年に建設した学び舎。10年間、この場所から多くの出会いや交流が生まれました。道産材を用い、間伐材の断熱材で夏も冬も快適な空間。微生物を使った污水处理施設や固液分離型のコンポストトイレなど様々な試行も。12月14日には、建設に関わった建築家や工務店、地域の仲間たちが集って、懐かしい話と次の10年に向けた希望を語りました。

